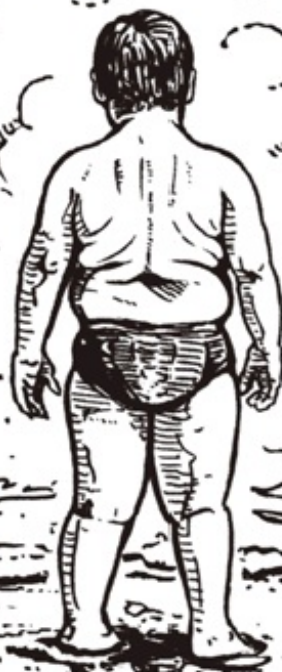




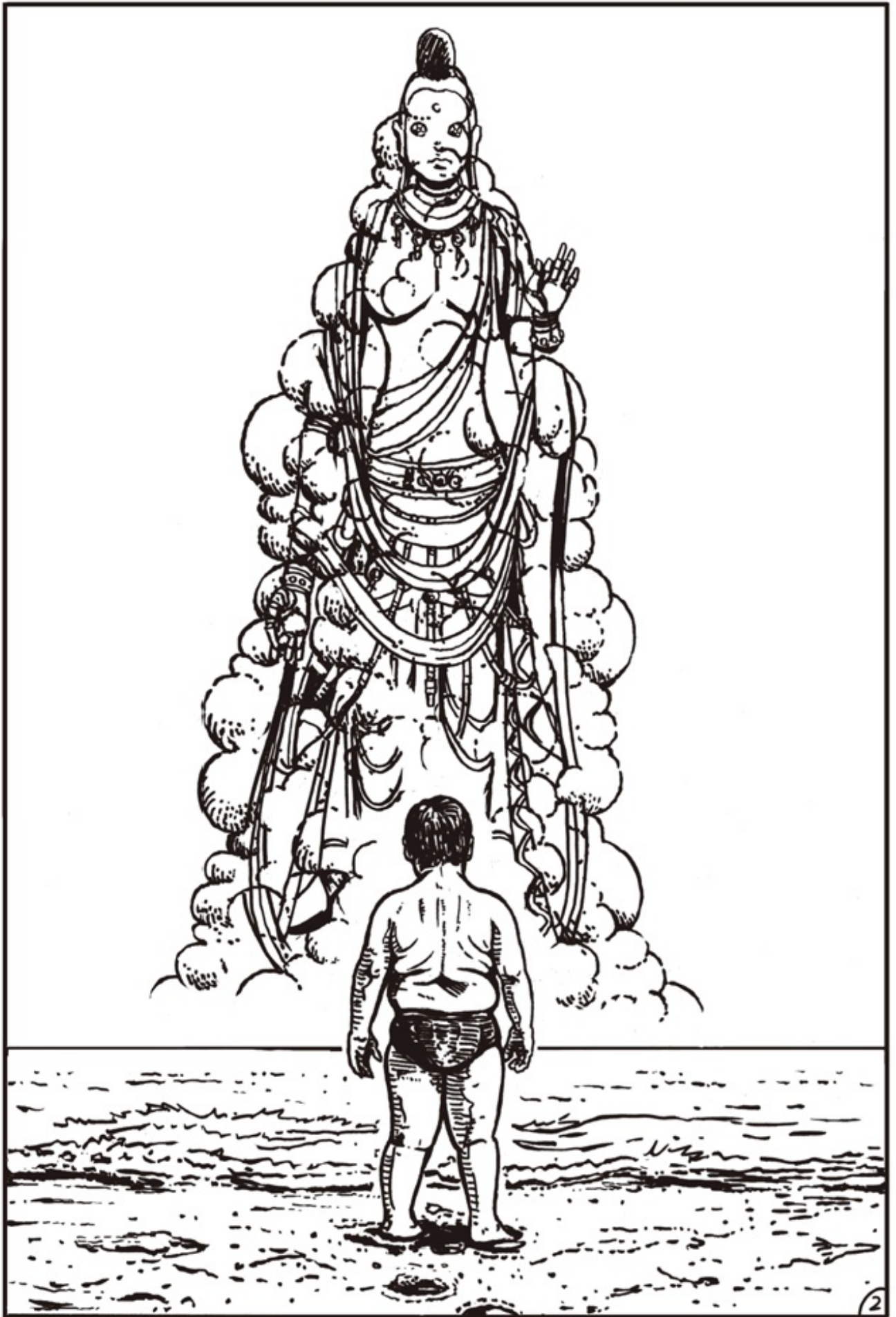


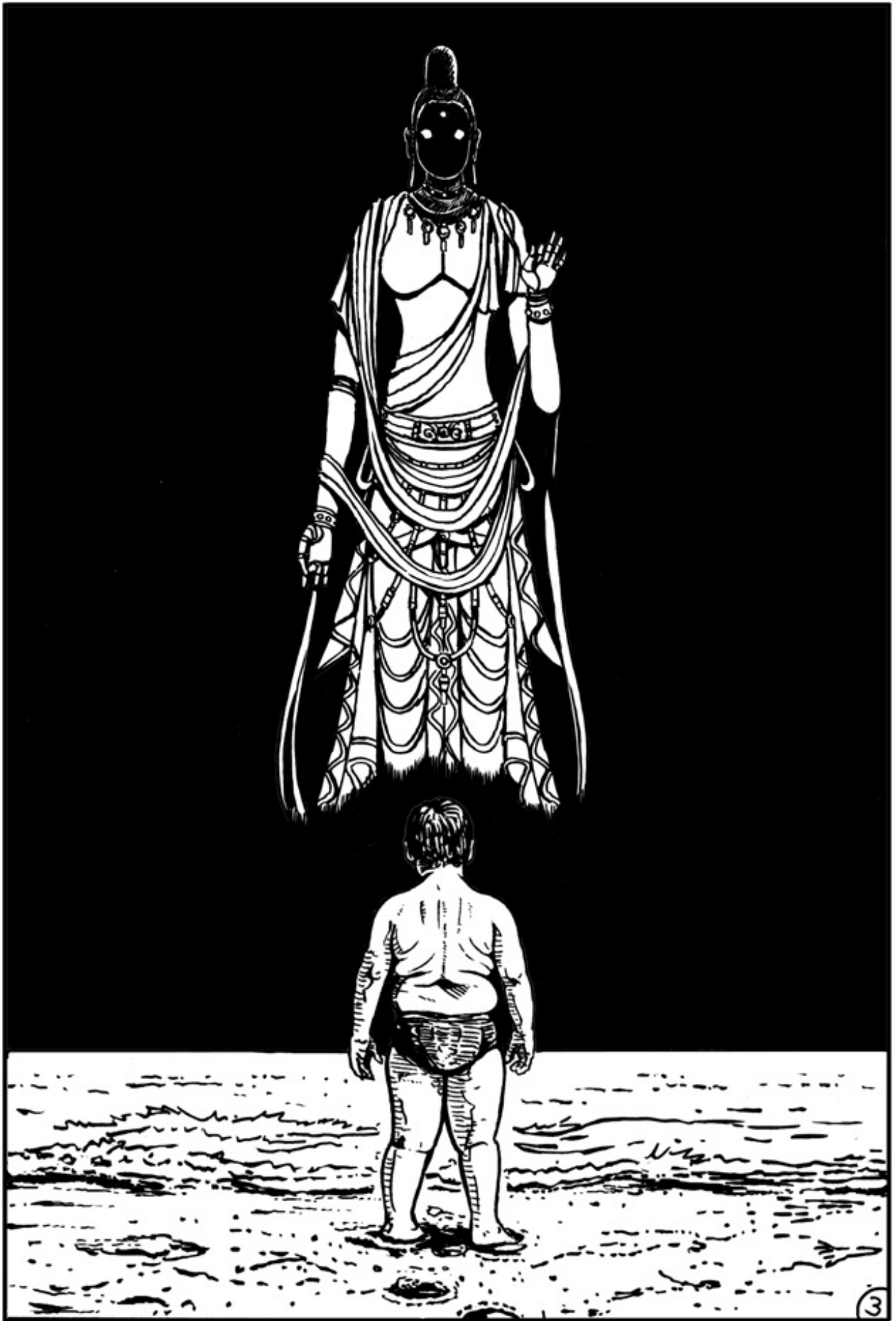
KYOCO

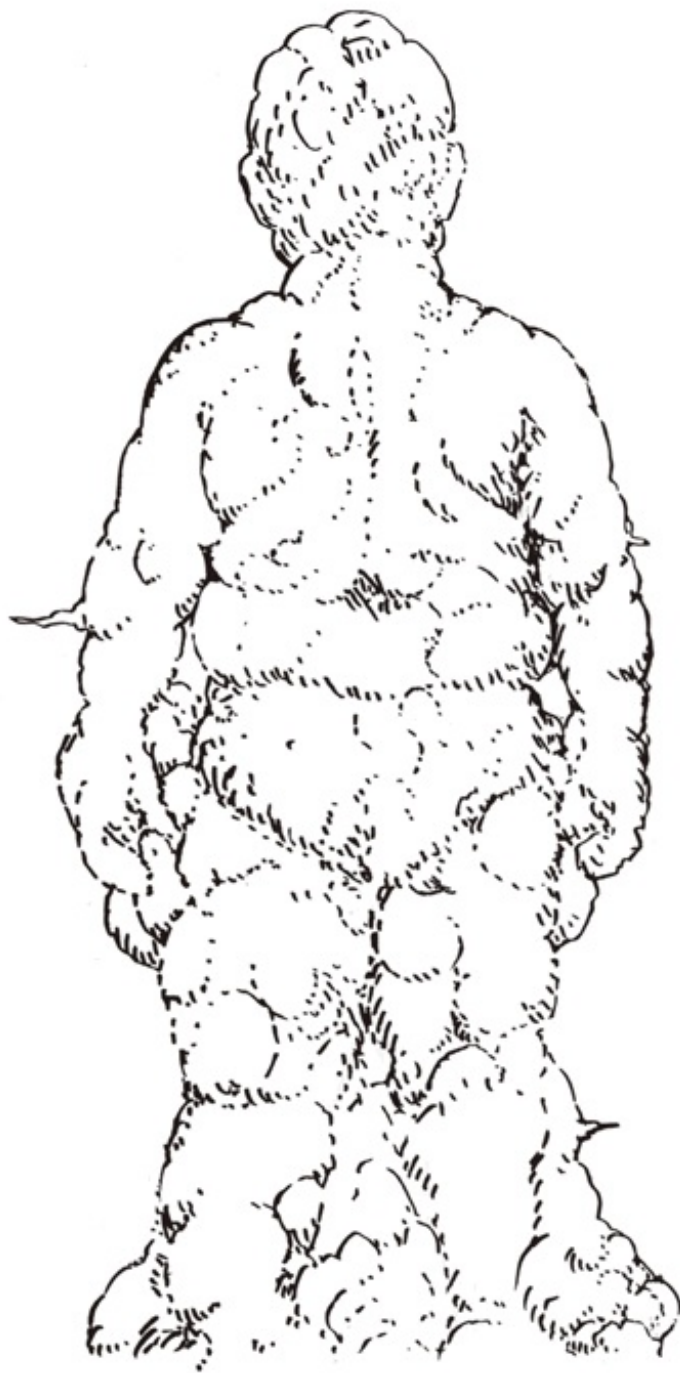
MARCO



Tada Yukihiro







in those days when my 20s was almost over
 i was a part-time cake carrier at a shop in the town.
 the 20th century had been already over...
 and i didn't have any certain feeling
 that something like a new century had started yet

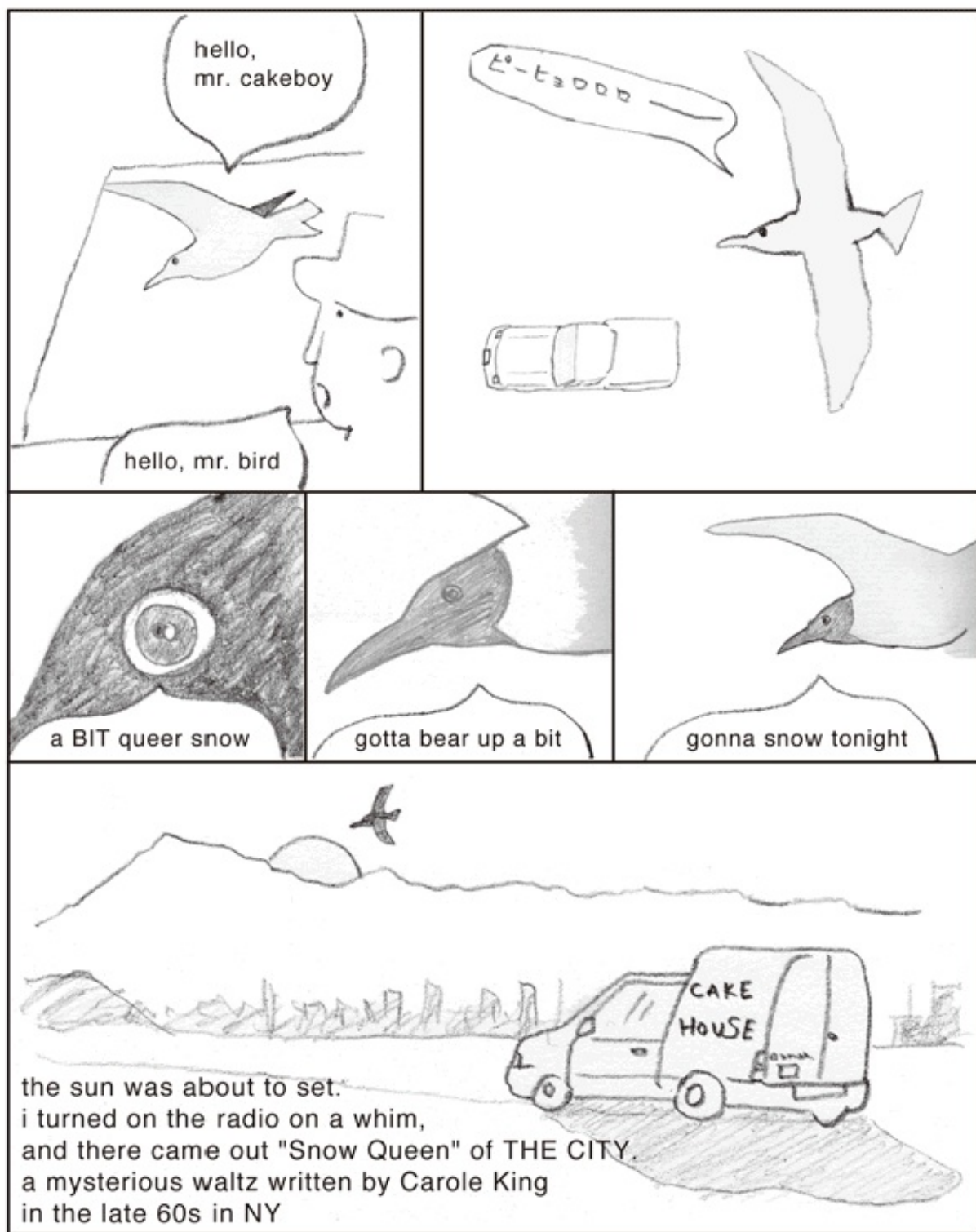


SNOWQUEEN

mississippi



20代の終わり頃、ぼくはアルバイトでケーキの配達をしていた。もう20世紀は終わっていたが、なにか新しい世紀がはじまったという実感もなかった。/ ゴメン、あと一件、行ける？/ クリスマスケーキですか？/ ううん、お誕生日ケーキ。女の子さんの。ちょっと遠いんだけど.. / 一本吸ったら、行きますよ/ 悪いね/ 京都は山に囲まれた街だ。ぼくらのケーキ屋は、東の山のふもとにあり、配達先は西の山の方だった。



(ビーヒョロロ)

ハロー、ケーキハウス君/ハロー、トリ君/今夜は雪になるぜ/気をつけた方がいい/ふつうの雪じゃないぞ/夕日が沈みかけていた。ほくは何となく、カーラジオをつけた。THE CITYの「Snow Queen」が流れていた。60年代終わりのニューヨークで、キャロル・キングが書いた、謎めいたワルツ。

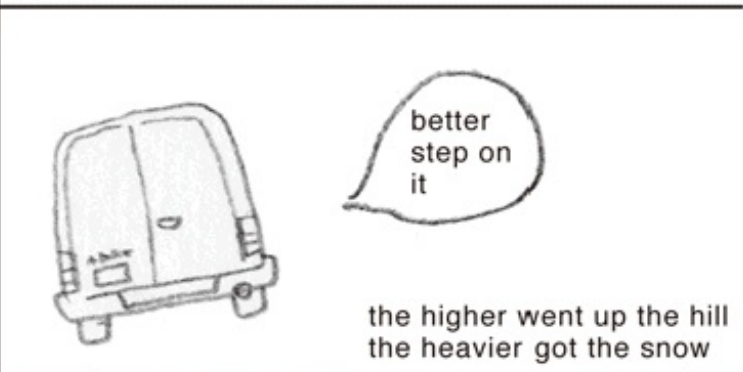
In the morning haze you are frozen there
Caught in the icy stare of Snow Queen ...

(朝もやの中、お前は凍えこしまうだろう
氷の視線が雪の女王からかりとるぐ...)

silly
song,
isn't it
?



the white flakes began to fall



the higher went up the hill
the heavier got the snow



seems like i'm going
round'n round
on the same place!

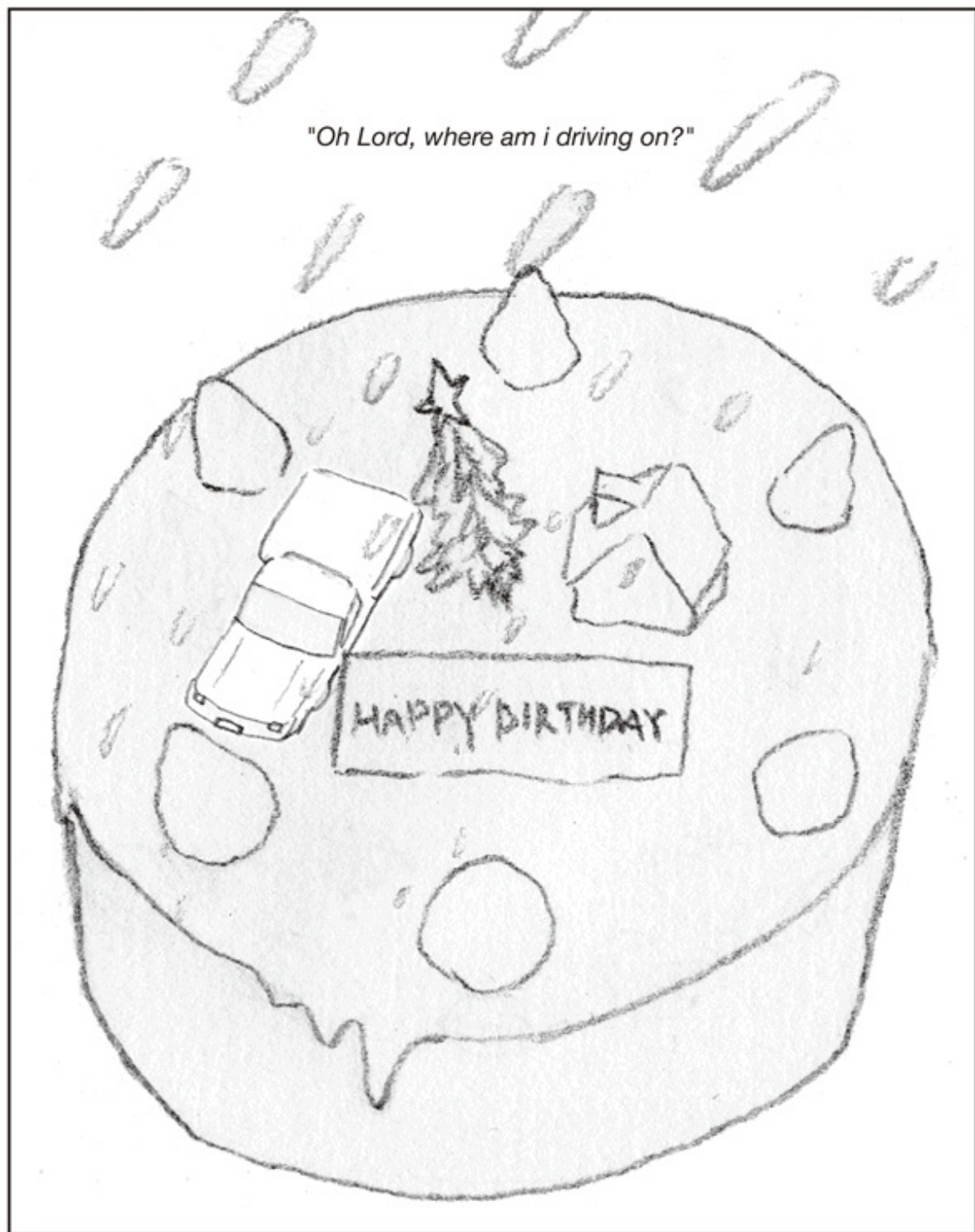


it's
been
weird

i just couldn't find her house.
and i'd rarely got lost on the way

嫌な歌だな../ あ/ 雪が降り出した/ 急がなくちゃ/ 西の山を登るにつれて、雪は激しくなる/ (ゴォー) /おかしいな/ 配達先の家がどうしても見つからない。道に迷うことなんて、滅多にないのに../ なんだか同じところを、ぐるぐる回ってるような気がする!

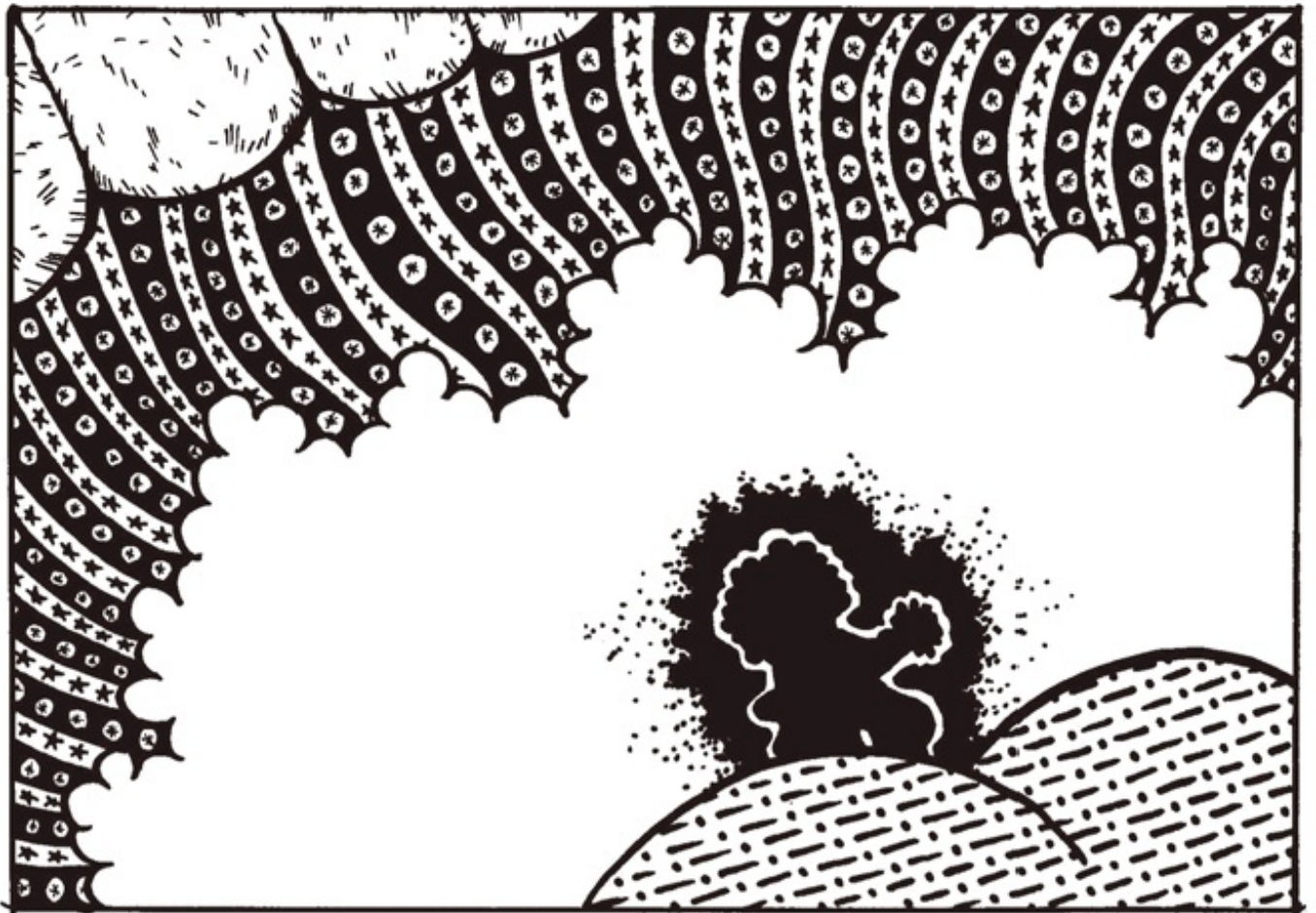
"Oh Lord, where am i driving on?"

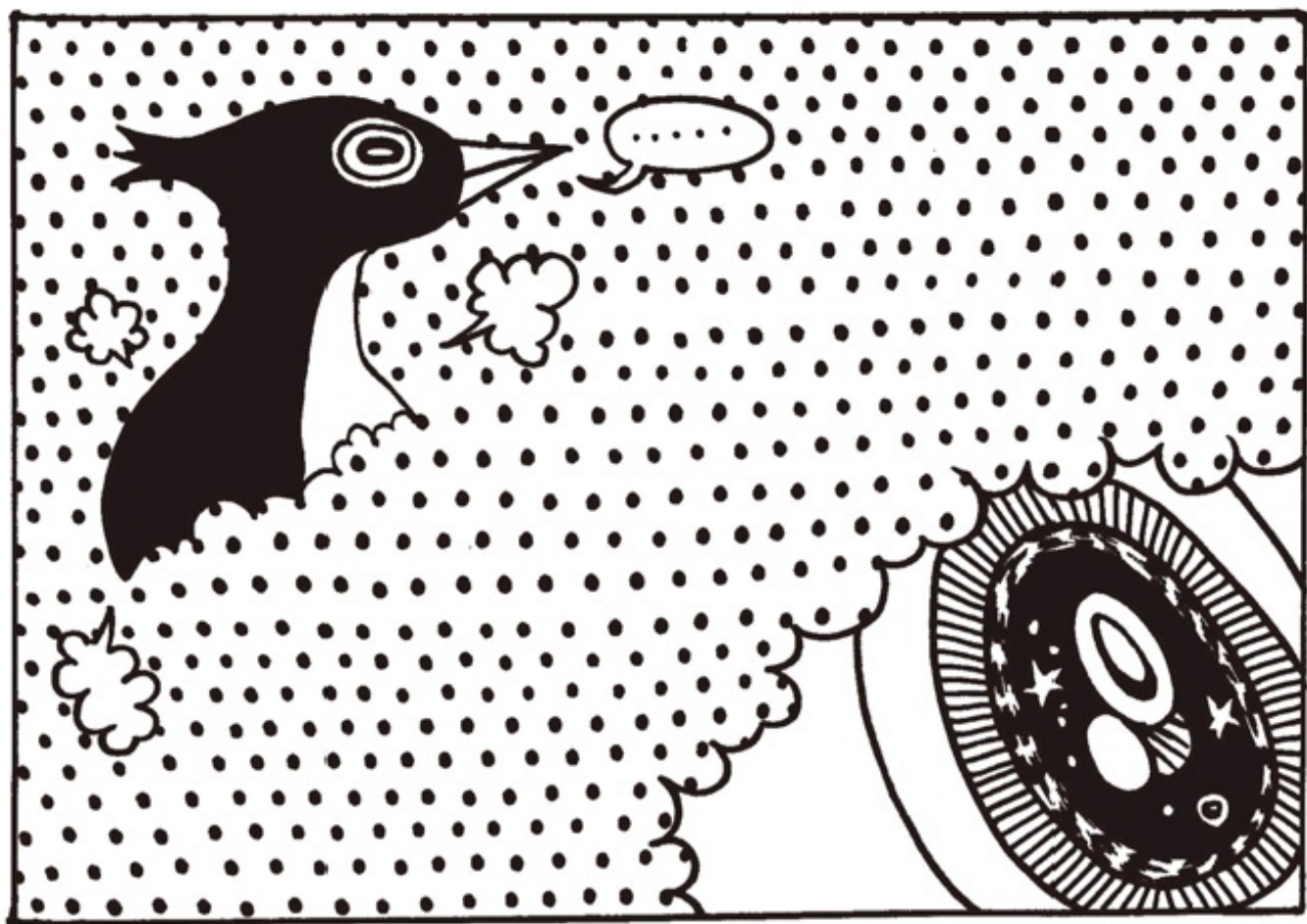
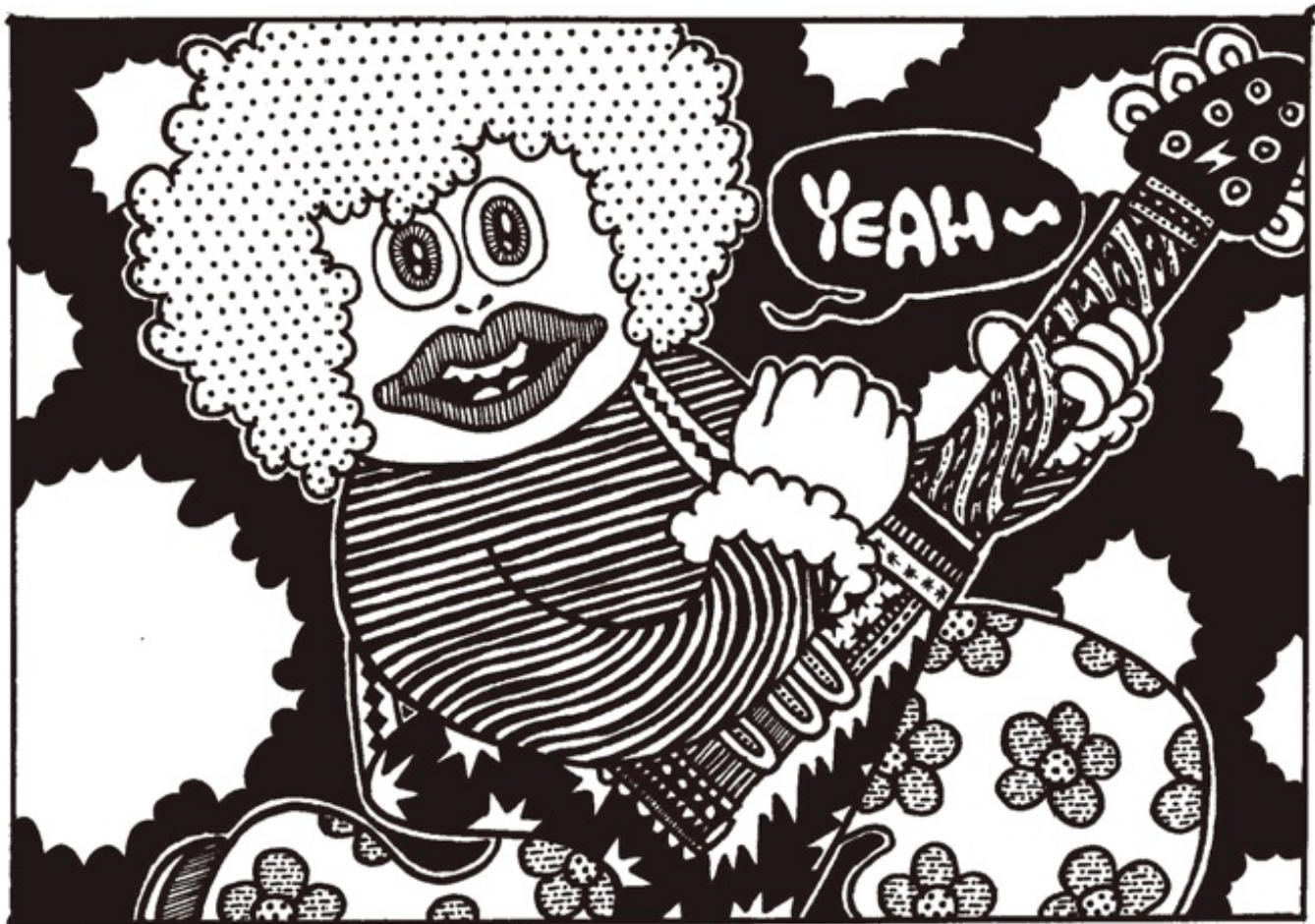


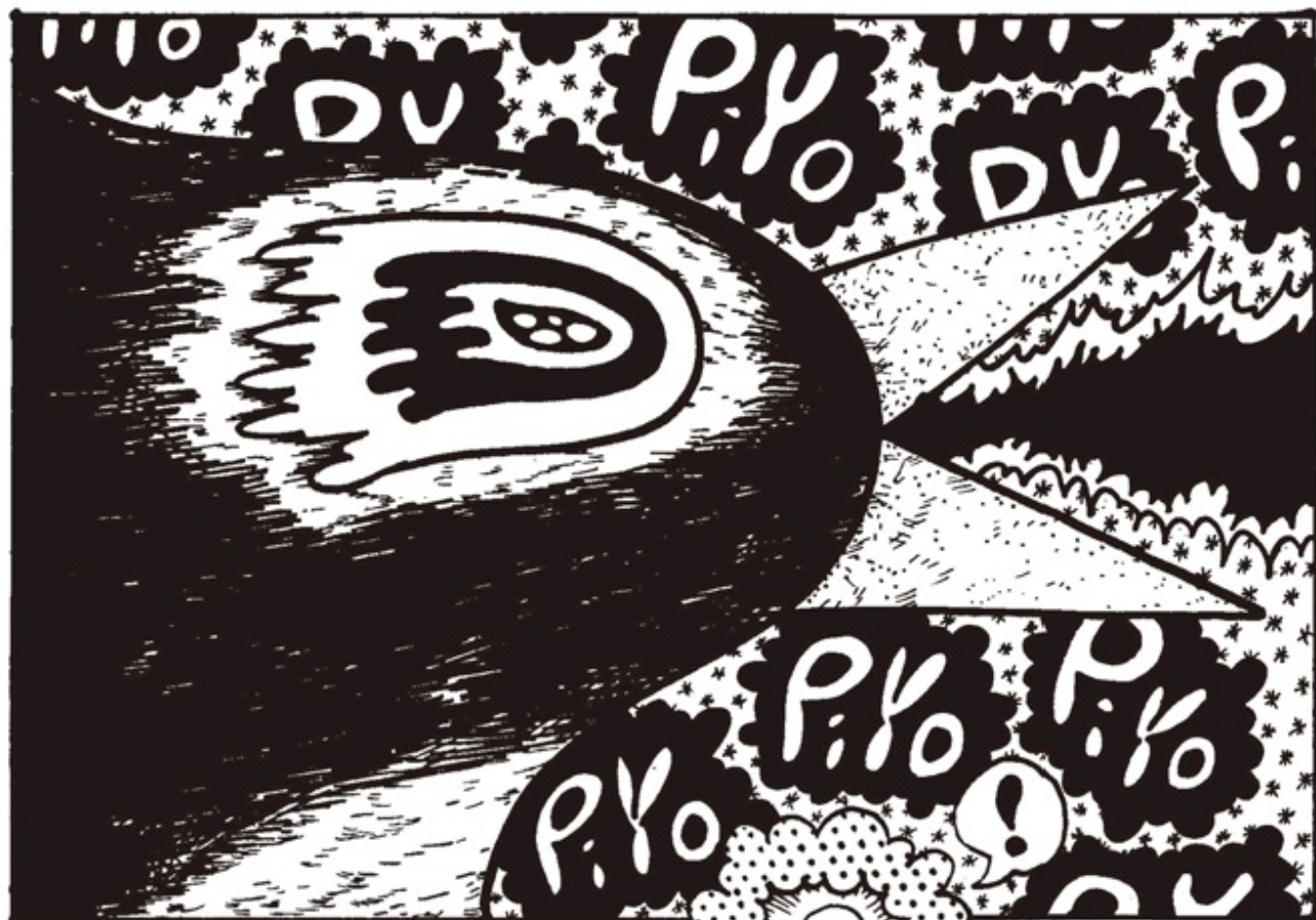
「神様、ぼくはどこを走っているんですか？」

(English translations by jun kitamura)



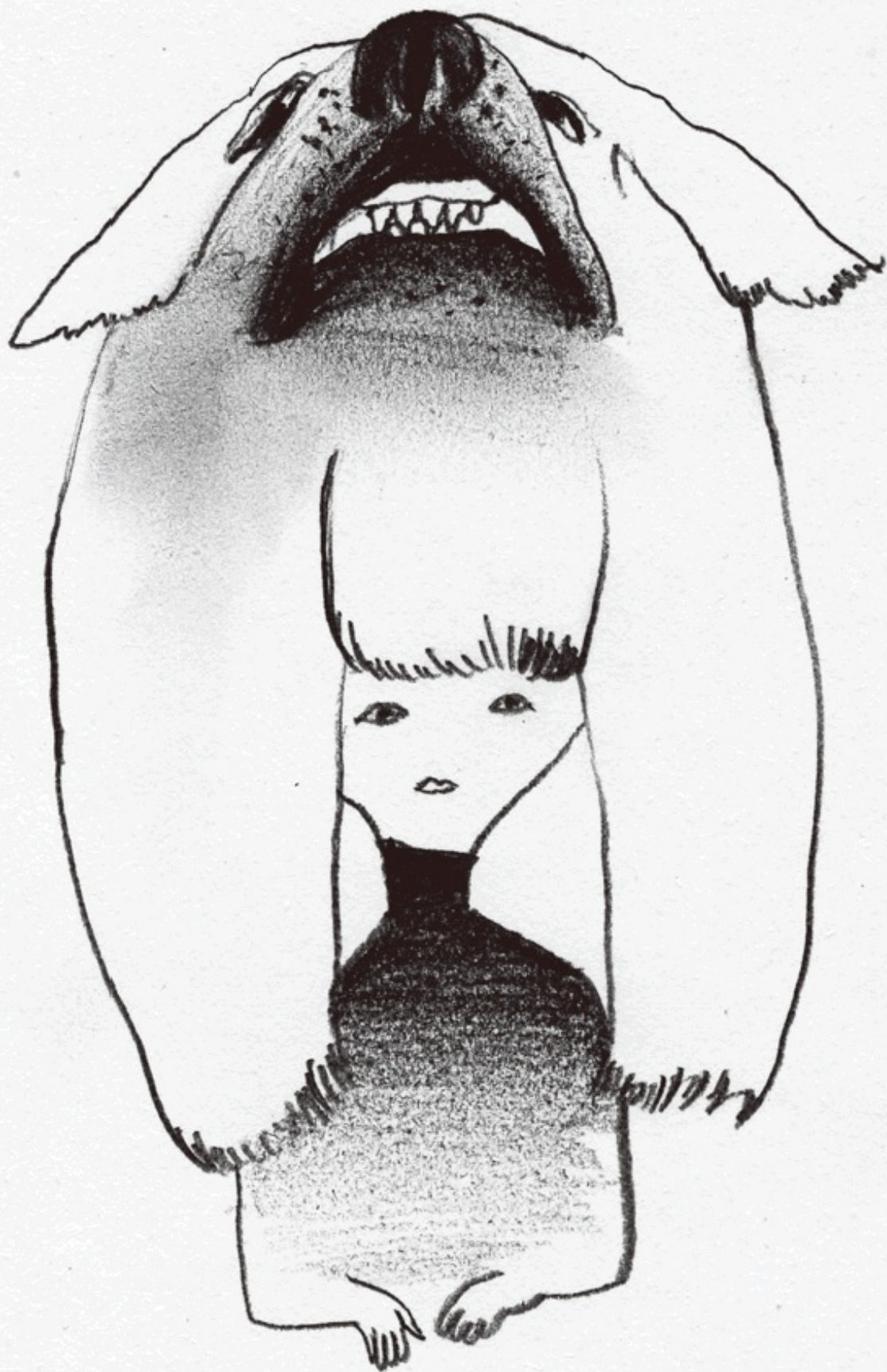




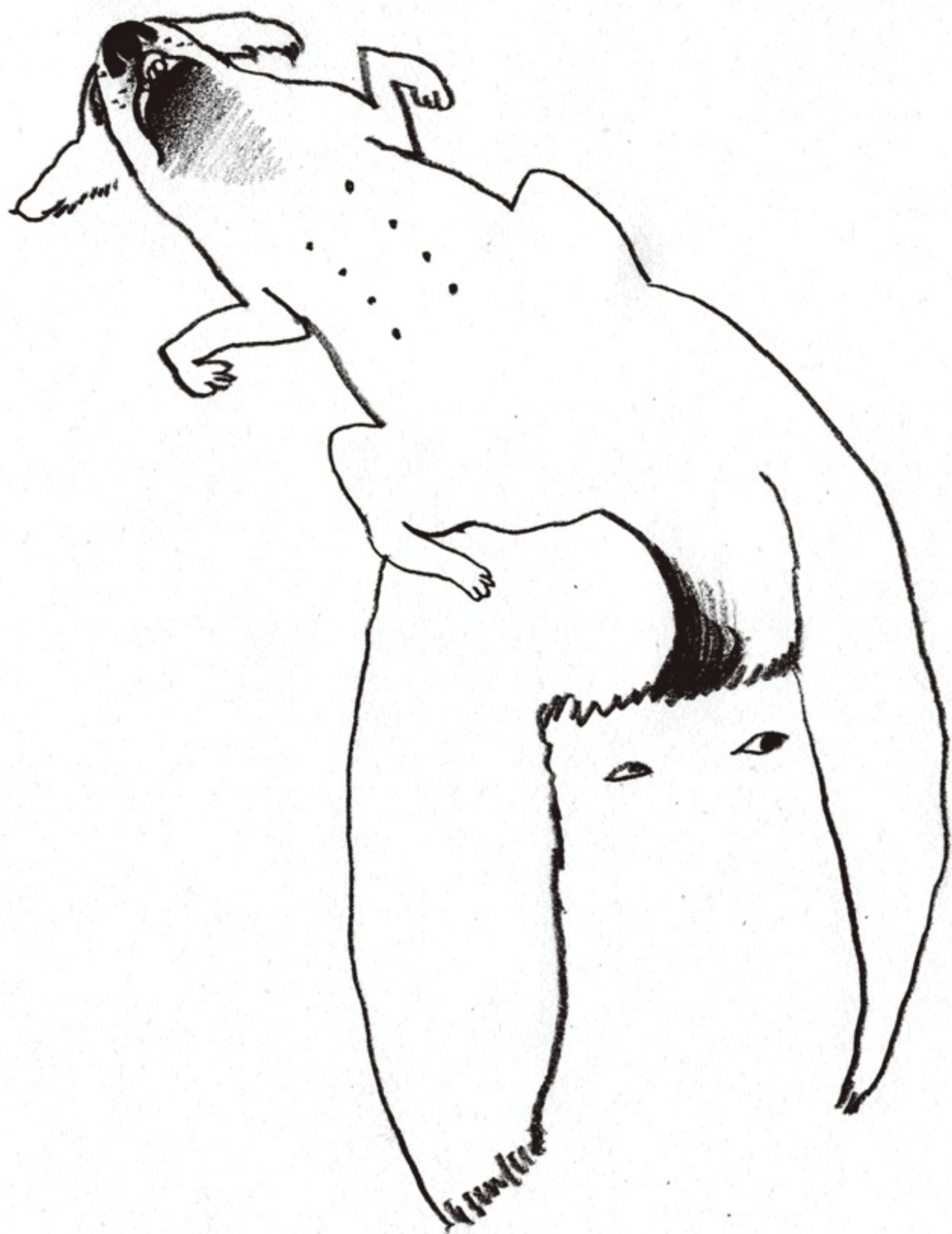




dog Life 2009









Maki Nakamura





There is no happiness without forgetfulness.

(忘れやすいからこそ、幸せなのです。)



He ran away with my eyelids.

彼があたいのまぶたを持ち逃げしたんよ

"Distance" is a important word.

"間"は大事な言の葉

I need your help.

助けとくれよう

I want to see him!

あいつに会いたい!

It's funny.

おもしろいわ

He always smells of sweat.

てめーはいつでも汗臭いねん

Her love is sloppy.

あの子は恋が雑

Let's play with me.

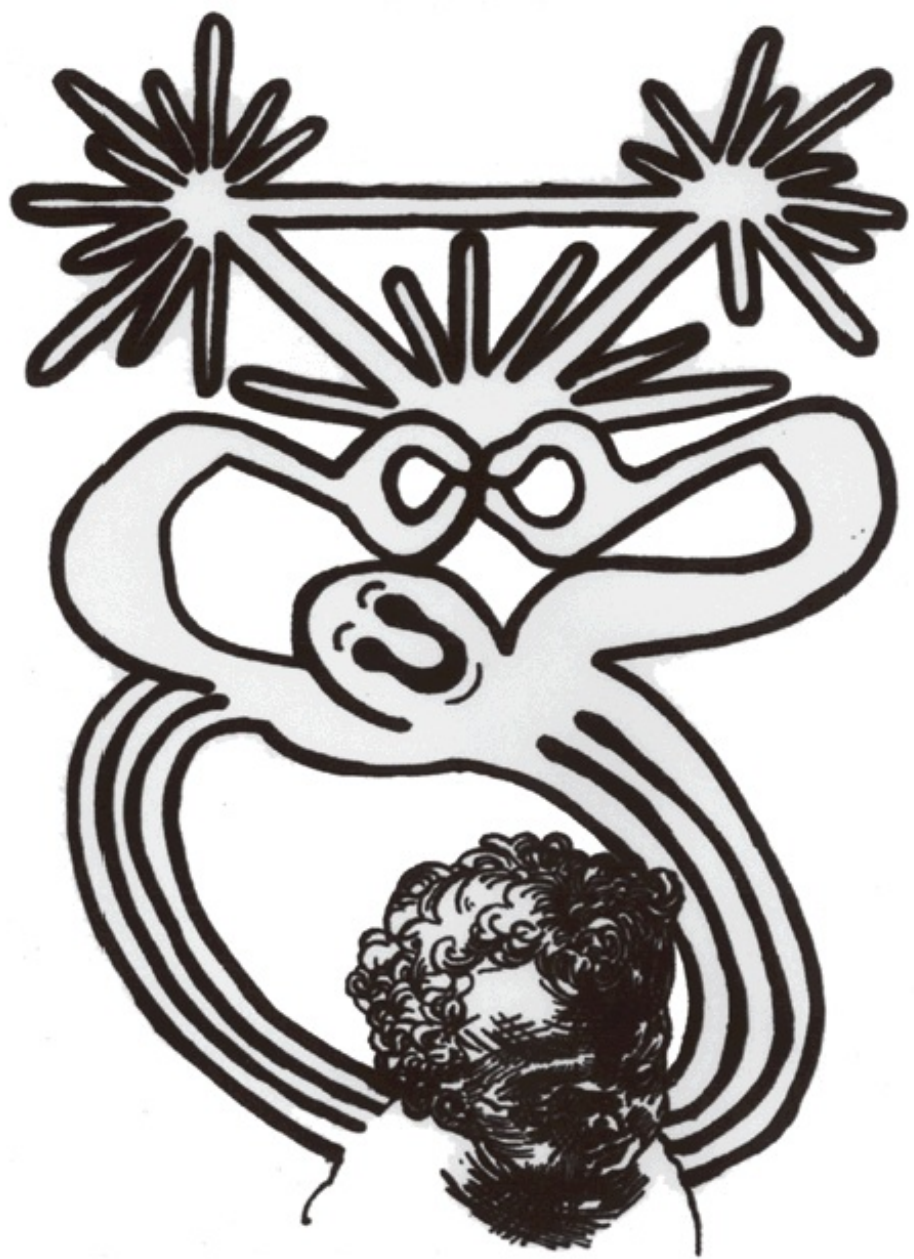
俺と遊ぼうやー

I want to mate.

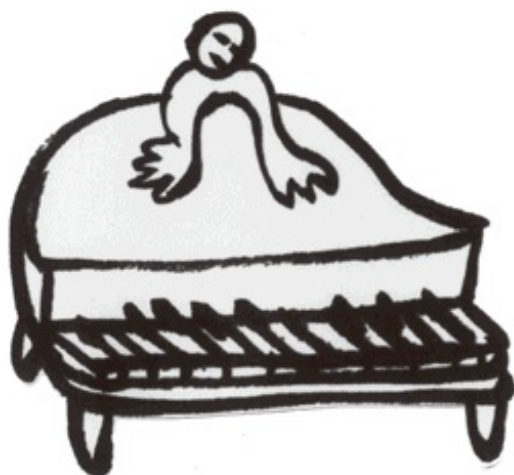
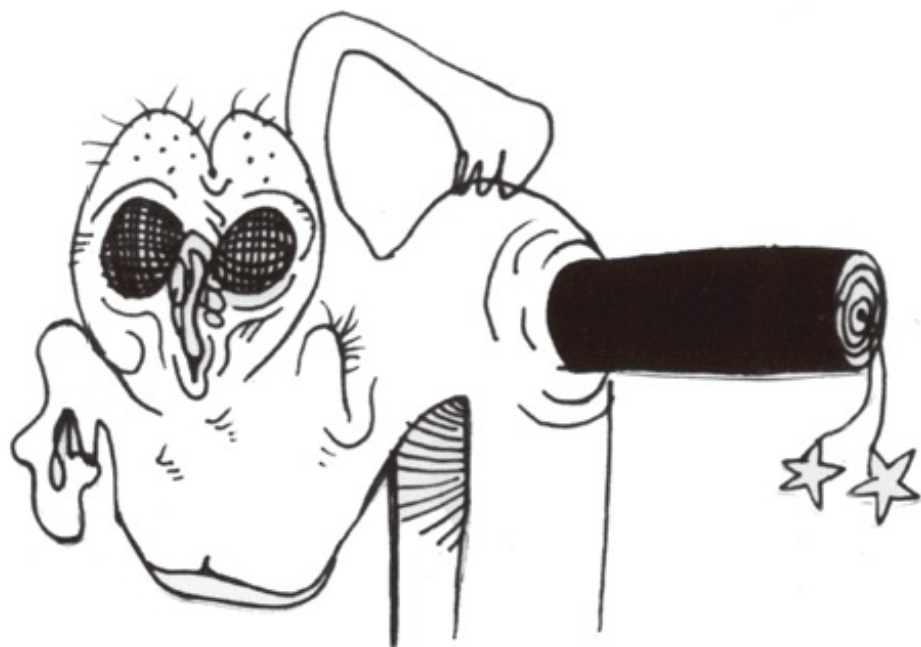
交尾したーい

That's unfair.

それはずるいがな









ARTIST INDEX

- 2 タダユキヒロ **tada,YUKIHIRO** <http://www.tadayukihiro.com>
- 6 ミシシッピ **MISSISSIPPI** <http://mississippi-kyoto.com>
- 10 山さきあさ彦 **yamasaki,ASAHIKO** <http://www.ac.auone-net.jp/~asahiko>
- 14 すずきあい **suzuki,AI** ai0630ai@yahoo.co.jp
- 18 中村麻里絵 **nakamura,MARIE** codomical@yahoo.co.jp
- 22 富永大士 **tominaga,TAISHI** <http://tomiworks.exblog.jp>
- 28 伊達努 **date,TSUTOMU** <http://www.myspace.com/1004288887>

on the other book...

- 2 萁野夢子 **ichigono,YUMEKO** <http://www.myspace.com/yumekoichigono>
- 6 平竹晋也 **hiratake,SHINYA** <http://www.kunitachikoku.com>
- 10 ユリコフ・カワヒロ **Yurikov Kawahiro** <http://yurikov.petit.cc>
- 14 中川潤 **nakagawa,JUN** nuunj9@yahoo.co.jp
- 18 村林由貴 **murabayashi,YUKI** <http://murabayashiyuki.moo.jp>
- 22 阪口翼 **sakaguchi,TSUBASA** sakaguehitsubasa@gmail.com

published in conjunction with the exhibition 'Junge Künstler aus Kyoto'
at druckdearer gallery, Hamburg, 10 dec 2009 - 9 jan 2010

(c) All rights reserved by the artists. Reproduction without permission prohibited.

Front cover art work by tada, YUKIHIRO
Back cover art work by hiratake, SHINYA
Index page art work by murabayashi, YUKI

数を数える。

長い廊下を歩く。

庭が見える。

男は客だろうか

それとも

主だろうか。

「電話」

ここからは

オフラインだ。

かかることも

かけることもない。

突然、音が

聞こえてきた。

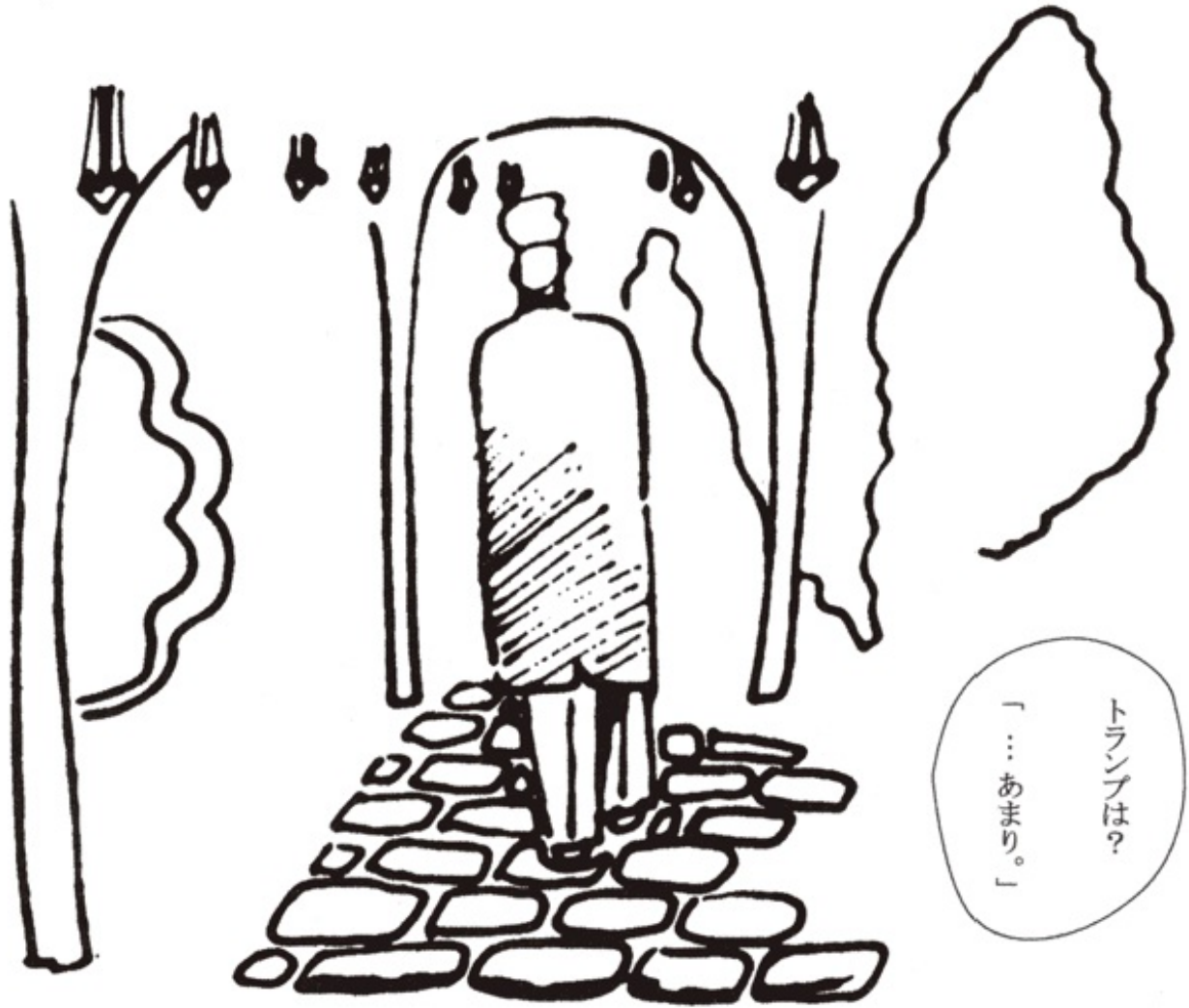
食器のこすれる音。

咀嚼する音。

給仕する音。

ランプの明かりを辿り

眠りの宴へ。



トランプは？

「…あまり。」

妄想は、時間や場所を越え

夜に入り込んでくる。

人は目覚めていて、待っている。



その頃、他のすべての哺乳動物は
夢を見ている。

つかの間、脈路のない空想が

明滅し、浮遊して

それを、夜気が運んでくるのだ。

朝

会社へ急いでいたら、ドラム缶に衝突した。

へいちゃらだったけど、

「FUCK」の四文字が

頭をよぎった。

車はうるさいし、空気には

ウイルスが沢山。

機械がたてるノイズがひどくて

最近 耳の聞こえが悪い。

ゴミが落ちていて、踏かないように

高架の近くの路をいそいだ。

風船が車の窓から捨てられるのを見た。

風船は 捨てられても 浮かんでいくから

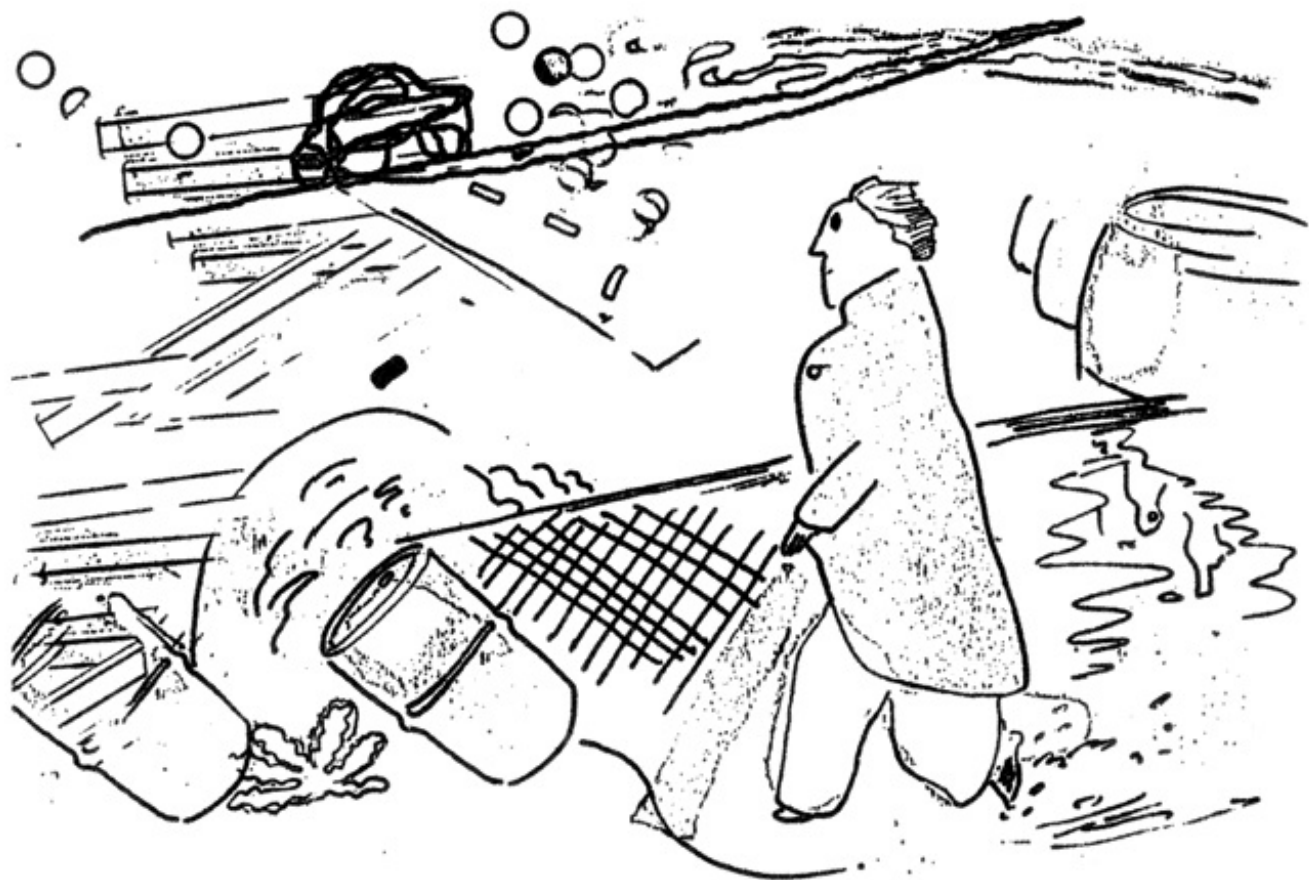
ふしぎだ。

おまけに 雨の後で アスファルトが匂う。

スモッグが朝の光をねじまげている。

オレンジ色 グリーン

鮮やかすぎる色だな



明日には

スフィンクスの顔も

今日より少し 薄っぺらに見える。

表面が 少しずつ 塵になって

飛んでいっているんだ。



パターンは
変化する。



